

第五十九回 通常組合会開催

全国板金業国保組合は三月十一日「第五十九回通常組合会」を東京・芝の郵便貯金会館メルパルクに於いて開催した。当日は小雨の中を全国県板より、組合会議員四十五名、理事・監事二十名が出席した。午前十一時、開会の辞に続き日井全板国保会長は平素の協力を謝し「この先、小子・高齢化の進展を考え国保組合員の増強に力を入れたい」

ているが、一件七二五万円の様な高額医療費が増えつつあり医療費総額に敏感にはね返る。また老人医療費は年々増加しており変動が激しい。平成十年度の決算見込み額は

- ◎収入合計 八二億八千万円
- ◎支出合計 七七億一千万円
- ◎差引残高 五億七千万円

中間報告であるが来期の保険料は据え置かれる見通し。

続いて「平成十一年度事業

大杉国保理事長は「平成十二年度から始まる介護保険により、国保組合運営にも難しい影響が出てくる」と挨拶の後議長と議事録署名人を選出して議事に入る。関根事務より「平成十年度事業の中間報告に付いて」（下記参照）次いで前砂事務局長が平成十年四月から平成十一年一月までの実施事業の詳細について説明。これによると本年度の医療費用額は低い傾向で推移し計画「平成十一年度収入支出予算ならびに予算に直接関連して議決を求める事項」について上程され、事務局より詳細の説明、質疑応答の後、満場賛同して原案どおり可決された。これにより今年四月より「健康診断助成金」一万五千円に増額される。事務局より「医療保険制度の抜本改革と介護保険制度」の説明の後閉会となった。（詳しくは板金新聞五〇二号を参照）（S）

平成11年1月31日まで
平成10年4月1日から

平成10年度は、前年度において強力に押し進められた「法人事業所等の健保適用除外手続き」が一段落してからスタートであったが、引き続き「適用の適正化」のための指導は厳しく、その対応に追われた。このため、やむを

得ず当組合を脱退し他の保険者へ異動した組合員も引き続きあり、12月末現在で組合員・家族合わせて一、〇二四人の減少（前年度末比）となっている。しかし、このところ、この減少傾向に歯止めがかかり、4万2千人台をほぼ維持している。

また、長引く不況による税収不足は、国及び都の財政を圧迫し、補助金の将来にとっても大きな不安材料となっている。しかし、当組合が、法改正に伴い変更した平成9年9月からの組合員給付率8割の実施は、本年度に入っても医療費の増加を抑制していると思われ、組合財政に好結果をもたらすところとなっている。

一般被保険者の一人当たり月平均療養給付費は、11月現

在の実績で一、二、一六九円

(費用額)、対前年費△三・二四％となっている。このため、保険者負担率でも八・九〇三と円、対前年費△六・九五％という結果となり、被保険者数の減と相まって、給付総額は予定を下回るのは確実である。しかし、今冬のインフル

厚生委員会開催

去る3月3日PM3時より、全国板金業健保組合の理事を兼務されている斉藤副理事長、吉田専務の同席を頂き開催となった。

員会開催

エンザ大流行の影響がどの程度になるか懸念材料もある。

老人医療費は、前年度の実績が高かったこともあり、本年度は11月現在一人当たり額七二・一九三円（費用額）、対前年比一・四五％増程度となっているが、老人医療費は変動が激しく予断を許さない。

以上、平成10年度は、将来の制度改革をにらんでの不安材料の多い年度であったが、関係者のご理解とご協力を得て無事終了する予定である。

加入の組合員の方々は可るべく、全板国保への利用をお勧め致したく、各支部長へご協力をお願い致しますが、新年度に於いては会員増強に鑑み、詳細な点についてのお問合せは事務局保険担当者へ／

さて、全板国保補助事業に関する内容は次の通りです。

一、スポーツ大会を通じ自らの健康増進に関する案

一、健康に関する講演会

正確な知識を身につけ、自ら健康づくり案

議題として

一、全板国保理事会報告

一、全板国保補助事業の推進について

一、其他

先づ全板国保の従来の取扱
いについては、順調な経緯を
推移するも、先の適用除外申
請も終了し、今現在は新規加
入者を募っている現状、一方
では収支に於いても負担率ア
ップにより、適正に運用されて
いるものの、老人健保財政は

長期的に療養されている方々が、多いため若干の支出増となっているとの事、昨今の異常気象により、インフルエンザの大流行により、それらの影響が懸念材料となっているとの報告であった。

尚、現在は健康保険証の更新事務も終了し、各組合員に

配布されている事と思います

が、扶養家族に移動が生じた場合には速やかに、期限は14日以内に届出する事となっている事は周知の通り、更に保険料の修正の問題も生じる可能性も十分考えられます！

健康保険制度は数種類となく運営されているが、全被連

配偶者（現行）
六五〇～七五〇となる
健康管理は充分な管理を配
慮を施し、事業の繁栄に寄与
される事を祈願し委員会の報
告と致します。

沼澤

沼澤

支部だより

新たな船出

新役員の更なる健闘を期待

一知多支部一



▲月東 巖 新知多支部長

春暖の季節、桜の蕾の開花季節を告げる日々の変化、知多支部は去る3月21日(日)恒例にならって定例総会、今回は役員改選とあって、小雨日和り懸念されていた出足も順調、大勢の出席で賑わった。

総会に当たって村上県板理事長のご出席を頂き、地元出身で衆議院議員である久野統一郎先生を筆頭に、商社並びに問屋様の方のご出席も頂き、総会に相応しい光景であった。総会に先立ち、蟹江利夫支部長の歓迎の挨拶、2年間の活動を通じて体験談を述べられ議事に入った。

上程された議案は1号、6号議案まであり、すべて慎重なる審議のもと可決され、それらの審議の中で役員改選も含まれ、選考委員による選出がなされ、選考委員長からの発表、組合員に諮ったところ

全会一致で承認され、新役員の誕生となった。

新役員の紹介(7名)

支部長 月東 巖氏
副支部長 勝崎安夫氏
理事 小嶋 廣氏
宮地洋一氏
松本富夫氏
下郷充俊氏
竹内喜則氏

順不同

躍動の20世紀、21世紀への橋渡し役を担う最後の人事、実りある活動と繁栄を希望するところ。

来賓として村上理事長の挨拶、今真に激動の社会、中央との連携を保ち、業界・県板が如何に協調性を生かし、共にStep by Stepで歩み、技術の錬磨に精力を傾斜し、信頼のおける組合員として活躍を望むとの談。其の他に久野先生、積水化学(株)所長、(株)山善社長などから心温まるお祝辞を頂き敬意を表すると共に、協賛頂いた商社・問屋9社の方々にも心からお礼を申し上げます。

会も順調に進行する中で、献血活動も永遠と継続する中で、今回は20回の提供を達成された半田地区の神原弘氏に

記念品と感謝状が贈呈された。総会も式次第がすべて消化、幕を閉じ、会場を移し日頃の協力に謝するため、懇親会を商社・問屋を混えて開宴、時折間を縫って新商品のPR並びに説明も頂いた。懇親も年一回とあって、時世の厳しさの中にも、微笑みも浮び満喫した組合員、新役員の誕生により一致団結して支える事を誓い、旧役員の業績を湛え深く感謝し、ご苦労様と申上げたい。

沼澤



懇親会風景

刈谷支部総会開催

刈谷支部総会は平成11年2月26日刈谷新町で開催された。出席者18名、来賓2名、青年部1名であった。まず始めに伊藤氏の司会で始まり、次に岩室の開会の辞。支部長外山氏の挨拶の中で、今年もたいへんきびしい年なので、頑張っ

てほしい。10年度は、本当に

告を支部長の外山氏、会計報告を望月氏、監査報告を神谷氏が報告し承認された。つづいて事業計画案を外山氏、技能士会報告を花井氏、青年部報告を望月氏が報告した。役員改選に入り、外山氏が、万場一致で再任され、他の役員は外山氏に一任された。総会のあとの懇親会は、盛大におこなわれ、カラオケも全員で楽しんで無事に終わりました。

岩室 錦



岡崎支部 通常総会 開催

平成11年2月28日、レク・ワールド岡崎において、平成10年度岡崎板金工業組合通常総会が行われた。

定刻の午後2時、梅林副幹事長の司会により開始された。組合長高柳氏の挨拶では、二年間の反省と、組合に対して幾つかの案がある事、組合員の横のつながり、コミュニケーションを増幅する事が何よりも大切な目的であると話された。

議長に橋本氏が選出され議事に入った。10年度の事業報告を望月氏、監査報告を神谷氏が報告し承認された。つづいて事業計画案を外山氏、技能士会報告を花井氏、青年部報告を望月氏が報告した。役員改選に入り、外山氏が、万場一致で再任され、他の役員は外山氏に一任された。総会のあとの懇親会は、盛大におこなわれ、カラオケも全員で楽しんで無事に終わりました。

岡崎 中西

議案審議では、本年は役員改選の年でもあったが、顧問の清水功氏、相談役の安形光征氏の勇退、他は再選という形で選出された。

来賓挨拶では、県板村上理事長が全板連の中の愛知県板



講演中の山田英暉氏

▼新問屋シリーズ▲

愛知県亜鉛鉄板問屋会

会員会社紹介

第二十五回 株式会社 吉川商会

▶代表取締役社長
吉川 博氏

波トタンと言えは吉川商会と言われるほど古くから波付けを行っていた。今回は浪板主流の吉川商会を紹介する。

昭和四年初代吉川勝次郎氏が名古屋市中川区でトタン板の販売を始めた。昭和十五年

には西区江川通りの工場に波付機を設置、トタン板の波付けを主流に愛知県下の同業者や板金店に販売をしていた。

戦後、中川区八幡町尾頭橋の通称めがね橋に吉川商会を移し、波付けの吉川と言われるようになった。昭和二十四

年には中川区の店は兄、忠義氏に譲り二代目、吉川光弘氏が西区菊井町に戻り株式会社吉川商会を設立。

今年五十周年を迎えた。

昭和四十五年には西区あし原

代表取締役会長 吉川光弘

大正五年一月二日生

代表取締役社長 吉川 博

昭和二十年一月二十七日生

資本金 一千万円

従業員 男子 十五名

女子 三名

合計 十八名

専属運送車 トラック 二台

営業品目 亜鉛鉄板、ステン

レス材、アルミ建材、プラ

スチック雨樋、屋根・壁材

等板金材料全般。

営業範囲 名古屋市内及び尾

張地区全般

親睦会 吉川板金工業会で勉

強会、旅行、総会、吉川プ

ロンズ会ではゴルフコンペ

等を二ヶ月か三ヶ月にお客

様を中心のイベントを開催

している。以上

以下に会社の概要を紹介する。

商号

株式会社吉川商会

創業 昭和四年三月

創業者 吉川勝次郎

創業地 名古屋市中

川二女子

会社設立

昭和二十四年三月

本社所在地 西春日

井郡西枇杷島町古

城二丁目十四

営業倉庫 西区あし原町四五



▶本社 社屋

第二十一回全国建築板金競技大会

全日本板金工業組合連合会、

社団法人日本建築板金協会青

年部主催 第二十一回全国建

築板金競技大会が平成十一年

二月十七日・十八日の両日、

鳥取県若葉台のポリテクセン

ター鳥取で行われました。技

能競技の部には二十六組合三

十九名が参加、建築技術の部

には九組合十二名が参加し、

それぞれの技術を競い合いま

した。

初日は晴天に恵まれ、開会

式では建設省建設経済局建設

振興課業務係長 工藤氏、鳥

取市市長 西尾氏、鳥取県商

工労働部次長 中田氏が選手

への激励の言葉を述べられた

後、参加者全員での記念撮影

を行いました。次に、全板連

青年部役員の指導のもと、競

技上の事前説明、注意事項、

持参工具点検が行われ、明日

の競技への意気込みがひしひ

しと伝わってくるような緊張

感が会場に広がっていました。

その後、宿泊先のホテルモ

ナークへ移動して、昼間とは

うってかわった和やかな雰

気で懇親会が始まりました。

青年部部长 野溝氏の挨拶

の後、食事が始まり、

鳥取の伝統民芸が披

露され、各テーブル

では参加者それぞれ

がお酒を酌み交わし

ながら、明日へ向け

ての意気込みなどを

話しながら、和やか

に楽しい時間を過ご

しました。

翌日はあいにくの



▶大会参加者

小雨模様でしたが、その雰囲気吹き飛ばすかのように、競技開始の合図とともに選手全員が熱い闘志を燃やして、それぞれの作業を始めました。付き添い者も寒い中、廊下からそれぞれの選手に静かな声援を送り続けていました。

この大会の結果は四月上旬には決定し、平成十一年五月の全国建築板金業者岐阜大会にて表彰されます。

豊田支部親睦ボーリング大会を開催

豊田板金工業組合（西俣

章組合長）は去る2月20日出

豊田市元町の美鳥里ボールに

於いて親睦ボーリング大会を

開催しました。参加者は17事

業所・64人でした。ゲームは

午後7時にスタートし2ゲー

ムのトータルピンで順位を争

いました。ゲーム終了後、場

所をミーティングルームに移

して表彰式を行い、男性の部

1位、宮田鈴市氏（宮田板金

工作所）、女性の部1位、福

田英子氏（福田板金工作所）、

子供の部1位、河合浩介君

（河合板金）という結果にな

りました。私も、ひさしぶり

に投げさせていただきました

が結果はホテルでした。組合

企画委員会（河合澄夫委員

長・鈴木昭人氏・杉本忍氏）

の設営、健闘により多数の組

合員さんに参加をいただき、

横山興業（問屋）様もたく

さん参加していただきました。

また、賞品も盛り沢山でした。

参加された方全員が楽しめた

ボーリング大会であったと

思います。

豊田 松井

一宮建築板金 『保証制度グループ』発足

3月17日、木曽川町の東小路公民館において、一宮板金組合の保証制度適用の店の内有志18事業所で2回目の会合を開いて、一宮建築板金「保証制度グループ」を発足した。目的は、

一、責任施工の推進にあたり、保証書の発行とその内容を研究する。
一、保証書の発行を武器にグループの各事業所の発展をはかる。
一、グループ連盟でパンフレットを作成して地域の建設業

界や、公共事業等にアピールする。
一、この行動が刺激となって保証制度適用の店が増えることを望む。
この運営に当たっては、出資金3万円、月5千円の会費を申し合わせた。

この会の発足に当たっては愛板の技術委員である渡辺和弘氏を中心に、発案とご苦勞の末、今日を迎えた。代表となった渡辺和弘氏は機会があれば新聞広告も出したいと希望を話した。 佐藤

ステンレスの錆

金属は白金や金を除いて酸化物や硫化物などとして存在し、熱や電気を使って精錬する。金属が酸化する時、発熱し、あるいは電気エネルギーが生じる。自然界では酸化物や硫化物の方が安定した形である。金属が錆びると、水や空気を遮断し内部を守る状態になることがある。この被膜の状態を不動態という。強い酸などに触れるとこの不動態が、破壊される事がある。赤錆は不動態の黒錆と違い、組織が荒く水や空気を通すので内部に錆が進行する。ステンレスはステンレス鋼と言う鋼で、ステインは錆びる、汚れると言う意味でレスが否定の

意味。私達が普段使用する18-8ステンレスは18%がクロム、8%がニッケル、残りの74%が鉄で、しばらくすると表面に鉄とクロムの酸化物Fe₂O₃ができてこれが不動態なる。ニッケルを混ぜる事でこの不動態を速やかに生じさせ、また不動態を破壊から守る。よく分からないが錆に關係ある電気の生じるのをおさえる様だ。鉄には炭素が大きな要素だが、ステンレス鋼を焼くとクロムは炭素と結合し、結合したクロムは防錆能力がなくなる。鉄の部分のみがむき出しとなり赤錆が生じる。

西尾 大橋

3月各支部の動き

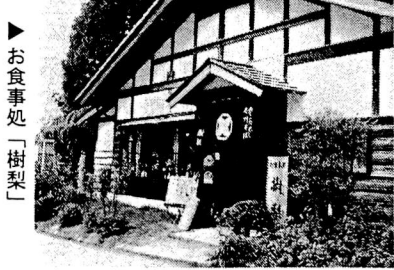
名古屋板金連合会	30日	支部長会
昭和支部	8日	支部例会
熱田南支部	20日	定例会
西支部	25日	支部総会
中支部	13日	支部総会
緑支部	29日	支部例会
尾張板金連合会	14日	総会

小牧ロイヤルホテル	18日	支部四役会
瀬戸支部	13日	定例会
津島支部	26日	支部総会
江南支部	5日	定例会
西三板金連合会	18日	支部役員会
岡崎支部	10日	幹部役員会
碧南支部	24日	青年部総会
豊田支部	26日	支部役員引継会

刈谷支部	27日	支部青年部総会
西尾支部	15日	新役員引継会
知多支部	4日	青年部総会
東三支部	21日	支部総会
三好支部	4日	定例会
新田支部	10日	青年部定例会
新田支部	19日	新役員引継会
新田支部	25日	新役員引継会
一宮支部	29日	第60回総会打合せ

木曽路 馬籠のこんな店

そろそろ、新緑の鮮やかななる時節、中仙道「馬籠・妻籠」へ行かれた時には是非、寄ってほしい店を紹介いたします。木曽馬籠宿の町並みを通り過ぎ妻籠に向かう旧中仙道ぞいの馬籠峠にある「峠の茶屋」ふうの食事処「樹梨」が有ります。目標は水車小屋を左に見てすぐの所にあります。この店は女将(大脇満佐江)さんと息子さんのお嫁さんとオーナーで公務員のご主人も時々、手伝って一緒にやっている家庭的な店です。なんと



お食事処「樹梨」

「樹梨」にも紹介された。温泉好きな私(夫婦)といたしましては木曽路方面の温泉に行った時には必ず「樹梨」へ寄って、そば定食を食べさせていただきます。(熱田・南) 伊藤

編集後記

今年は四年目毎に行われる統一地方選挙の年である。地方行政の舵取り役から県議会、市議会のセンセイまで四月は選挙一色になりそうだ。町中が桜花一色なら大歓迎であるが、選挙一色ではうさくで堪らない。地方選挙は日常生活に密着した大事なる選挙であることは十分承知しているのだが、私はこの地方選挙が大嫌いだ。特に身近かの市議選は頭に来る。出来る事ならこの期間は選挙のない所に住みたいと思う。三月に入り出馬予定者陣営の動きが目立ってきた。紅白の目で分るければいい選挙事務所を設け公示前から、議会報告会などの××を囲む会だの、名前看板を張り回し宣伝車での事前運動を公然とやらす。後援会組織でやるならまだしも、区推薦で無差別に動員をかけるなど最低である。出来もしない選挙公約を並べ立てこの時だけやたらと愛想を振りまく出世欲ばかりの人間が多すぎる。義理人情に左右されずに、自分達の代表として真剣に取り組む人をよく見極めて権利の一票を投じたい。三月二十六日(金) 曇 三三七号 編集会議 委員 十名 出席 午後五時終了 (S)